

科目コード	R6011	科目名	理学療法評価学				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	石倉 英樹						
授業の概要	理学療法評価の目的や方法を学習する。特に理学療法評価学 では、徒手筋力検査法について学習する。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						-
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
	2025年度以降の学則適用者用のディプロマ・ポリシーとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は、項目順や表現が異なります DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	筋力測定の目的を説明することができる。 代償動作を理解し、その状態に応じた筋力検査の項目を述べるすることができる。 理学療法評価結果より統合と解釈を体験する。						
履修上の注意事項	小テストを実施する。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション、理学療法評価の基礎 ・筋力測定に関する基礎知識【石倉】				理学療法評価における心身機能・身体構造について復習しておく。（60分）	
	2	徒手筋力検査法（頸部～体幹） ・頸部の筋力検査に関する方法、代償動作の理解 【石倉】				頸部の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	3	徒手筋力検査法（頸部～体幹） ・体幹の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】				体幹の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	4	徒手筋力検査法（上肢） ・肩甲帯の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】				肩甲帯の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	5	徒手筋力検査法（上肢） ・肩関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（前半）【石倉】				肩甲帯の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	6	徒手筋力検査法（上肢） ・肩関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（後半）【石倉】				肩関節の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	7	徒手筋力検査法（上肢） ・肘関節- 前腕の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】				肘関節-前腕の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	8	徒手筋力検査法（上肢） ・手関節- 手指の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】				手関節-手指の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	9	徒手筋力検査法：頸部～上肢まとめ ・頸部～上肢の筋力検査に関する知識のまとめ【石倉】				頸部～上肢の徒手筋力検査手法を整理し、代償動作や留意点をまとめておく。（60分）	
	10	徒手筋力検査法（下肢） ・股関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（前半）【石倉】				股関節の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	11	徒手筋力検査法（下肢） ・股関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（後半）【石倉】				股関節の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	12	徒手筋力検査法（下肢） ・膝関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】				膝関節-前腕の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	13	徒手筋力検査法（下肢） ・足関節- 足趾の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】				足関節-足部の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）	
	14	徒手筋力検査法：下肢まとめ ・下肢の筋力検査に関する知識のまとめ【石倉】				下肢の徒手筋力検査手法を整理し、代償動作や留意点をまとめておく。（60分）	
15	筋力測定に関する応用的知識 ・疾患に関する筋力評価、統合と解釈について【石倉】				臨床場面で行う徒手筋力検査についてイメージしておく。（60分）		
成績評価方法	筆記試験90%、小テスト10% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	新・徒手筋力検査法 原著第10版（共同医書出版）					978-4-7639-0041-8	
参考書	理学療法評価学 第6版補訂版（金原出版）					978-4-307-75068-4	
教員からのメッセージ	筋力評価は、身体の構造についての知識が不可欠であり、特に解剖学（骨格筋と支配神経）についてはよく復習しておくが良い。						
教員との連絡方法	オフィスパワーを活用すること						
実務経験のある教員	病院や施設での理学療法士としての臨床経験を基に、理学療法評価（筋力評価）について講義を行う。						